

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)		区分	
2	創って減らす(地球温暖化対策事業)	新規	拡大
会計区分	款	項	目
一般会計	4	3	1
所管			
環境局 環境共生部 地球温暖化対策課			
事務事業の位置付け			
しあわせ倍增プラン2009	番号	42	事業名
総合振興計画新実施計画	事業コード	1101	事業名
根拠法令等	さいたま市地球温暖化対策地域推進計画		
予算要求事業の概要			
内容	地球温暖化対策のため、原因となる二酸化炭素の排出を抑制する省エネルギー化に積極的に取り組むため、日本一を目指す照明のLED化や省エネ機器の導入促進を行います。		
目的・目標	<p><目的> 地球温暖化対策のため、原因となる二酸化炭素の排出を抑制するため、化石燃料を燃焼することによって発生する電気等のエネルギーの使用を少なくする、省エネルギー化を目的とします。</p> <p><目標(平成24年度末)> 1 エネルギー削減効率の高い市有施設のLED化率10%(80施設中の8施設)</p>		
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> 1 エネルギー削減効率の高い市有施設のLED化率0% パイロット事業としてさいたま新都心駅東西自由通路のLED化</p> <p><課題> 1 LED照明は省エネ効果の高い機器であるが、新技術であり既存照明機器のような、国による性能、規格内容についての表記方法が統一されていません。 そのため、LED照明を大規模に導入するにあたっては、対象施設の選考、適用機器の検討検証などを技術能力を有する者を含めて行う必要があります。 2 LED技術は新しい省エネ技術開発されたものであり、未だ一般的な理解が得られていないことが普及の弊害となっているため、地域における情報周知効果などの高い取組みが必要となります。</p>		
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度 LED化改修施設調査 LED化改修支援 2施設 平成23年度 LED化改修支援 3施設 平成24年度 LED化改修支援 3施設 		

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	4,000	<積算内訳> 1 エネルギー創って削る啓発冊子作成 1,000 2 エネルギー創って削るビジョン策定 3,000
	財源内訳 一般財源	4,000	
平成22年度	当初予算要求	23,600	<積算内訳> 1 公共施設LED化・省エネ機器導入促進関連経費 23,600 [主な内容] (1)公共施設LED化改修調査設計 (2)公共施設LED改修予備効果検証【拡大】 (3)LED照明展示相談会【拡大】 (4)省エネ機器導入促進助成【新規】 (5)公共施設新エネルギー導入可能性調査【新規】
	財源内訳 一般財源	23,600	<要求理由> 市有施設LED化導入を図るための設置可能性調査、実施設計、効果検証費用及び、照明部門以外の多角的な省エネルギー化を目指すため調査や補助事業に係る経費を要求するものです。
	財政局長査定	4,950	<査定内容> 1 公共施設LED化・省エネ機器導入促進関連経費 4,950 [主な内容] (1)公共施設LED化改修調査設計 (2)公共施設LED改修予備効果検証【拡大】 (3)LED照明展示相談会【拡大】 (4)省エネ機器導入促進助成【新規】 (5)公共施設新エネルギー導入可能性調査【新規】
	財源内訳 一般財源	4,950	<査定理由> LED照明可能性調査、啓発冊子作成経費については、内容及び積算を確認し、概ね要求どおりとしました。 省エネルギー機器導入補助については、他団体の実施状況等を参考に予算化を見送りました。 改修実施設計業務については、他課にて対応する箇所があるため予算化を見送りました。
	市長査定	4,950	<査定内容> 同上
	財源内訳 一般財源	4,950	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。